



東京発

# 小池絵未の国際機関探訪

こんにちは！小池絵未です。今回は、日本に帰国している機会を捉えて、国連工業開発機関（UNIDO）東京投資・技術移転促進事務所の村上秀樹次長を訪ねました。

## ◆今回訪問した国際機関 国連工業開発機関

- 国連専門機関の一つで、産業開発を通じて、貧困の削減、全ての人が恩恵を受けられるグローバル化、環境の持続可能性を実現することを目指す
- 開発途上国や市場経済移行国の経済力の強化と持続的な繁栄のために工業基盤の整備を支援
- 民間企業による途上国への直接投資や技術移転を支援することがその目的で、日本企業と途上国を繋ぐためにさまざまな事業を実施
- 本部はオーストリア・ウィーン、世界30カ国に地域事務所、3都市に連絡事務所、23カ国にデスク、7カ国8都市に投資・技術移転促進事務所を設置

◆お話を聞いた方

**村上 秀樹**さん

国連工業開発機関（UNIDO）  
東京投資・技術移転促進事務所  
（ITPO東京）次長



### ①今の仕事について詳しく教えてください。

UNIDOには、IのIndustrialと入っています。途上国の産業発展の手助けをしている国際機関で、ありとあらゆる支援プロジェクトを行なっています。

今年UNIDO創設50周年ですが、創設当時から今も行っているのは農業加工関連です。

例えば、途上国では果物を生のまま現地で売っていますが、「ジャムにしてはどうですか？」など、見栄えをよくするとか品質をよくして高く売れるように提案したりします。

最初、現地から「こういうことが困っています」と要請があります。

そして、UNIDOが専門家を派遣して研修などを行い、彼らに技術力を提供します。

西アフリカで シアバターを生産している女性グループに、「可愛いパッケージに入れた方がよい」とか、「手袋して生産したほうがよい」とか、アドバイスを行うのです。

昔から要請が多いのは、アフリカですが、今 特に力入れているのは、エチオピアとセネガルです。

エチオピアは家畜が多くて高品質の動物の皮がとれるので、革製品に力を入れるようにアドバイスしています。

UNIDO東京事務所は、日本企業が「途上国でビジネス投資したい」とか、「うちの技術は途上国でも使えるのか？」などの日本企業の要望をサポートします。

UNIDO東京事務所の訪問者の9割以上は日本企業の方で、海外展開に意欲のある中小企業が現地の情報を得るという例が多数です。

UNIDO東京事務所では、途上国の政府関係者を日本に連れてきて、その国にどのようなビジネス・チャンスがあるか話をしてもらったりもします。

大体、年に10人くらい途上国の政府関係者を連れてきて、セミナーをしたり、直接日本企業と話しをしてもらったりします。

英語が得意ではない中小企業の方への通訳としてのサポートなどもして、途上国でビジネスを行うための最初のパイプづくりに貢献しています。

日本と途上国のお見合いのような仕事です。



## ②いつ頃、国際機関で働こうと思いましたが？

日本の大学を卒業して、日本の企業に就職した時は、全く国際機関で働こうという気持ちはなかったのですが、英語がとても好きで、海外とのやり取りなどを英語を使ってできる仕事につけばいいなと思っていました。

そして、日本の大手電機メーカーに就職して、海外マーケティング担当になりました。

会社では色々なことはやらせてもらったのですが、企業は利益をあげないといけないので、やりたいことが全て出来るわけではないという現実がありました。

この民間企業で働き始めた4年目くらいの20代後半に、貧しい人や困っている人を直接手助け出来るような仕事に就きたいという気持ちが湧いてきてしまいました。

その後、情報収集をしたり、家族や友達に相談をしたところ、国際機関に転職するのも選択肢と思いつきました。

その後、その会社を辞めて、修士号を取得し、英語をもっと勉強したいと思い、米国留学を決意しました。

## ③どのような学歴をお持ちですか？

熊本で高校を卒業後、1999年に東京大学教養学部を卒業しました。

将来の就職のために、文系の学部を選びました。

2005年に米国インディアナ大学公共環境政策大学院修了(経済政策専攻)しました。

インディアナ大学では2年間、行政学PUBLIC AFFAIRS (MPA)を学びました。

## ④国際機関に入る前はどのようなお仕事をしてきたのですか？

東京大学教養学部を卒業後、日本の大手電機メーカーに就職し、すぐ海外マーケティングの欧州担当として、3年半勤務しました。

日本企業は研修制度が整って新入社員をしっかり教育してくれるので、国際機関で仕事をする上での基礎を学べたと思います。

この会社に勤務中に、ドイツに転勤もさせてもらいました。

その後、仕事を辞め、インディアナ大学に通っていた時に、行政学(MPA)を学んだので、このMPAは、修士論文を書かなくてもよいのですが、インターンをしないと卒業できないというルールがありました。

インターンするなら無給でもUNに行きたいと思い、片っ端から応募した中で、お返事をもらったのが、UNIDOでした。

28歳くらいで3ヶ月間、ウィーン本部で働きながら、UNIDOの仕事を経験し、職員の方とネットワークができ、この時に、将来国際機関で仕事をやりたいと確信しました。

その後、JPOの試験を受験するも、1度目の試験では面接で不合格という通知を受け、すごくショックでした。

不合格した後、日本ベースで直接的に途上国支援の活動をしている会社で何年か経験を積もうと考え、開発コンサルティング会社に中途採用で入社しました。

2年間この会社に勤め、その中の1年間、JICAの専門家としてインドネシアでも勤務しました。

ここで途上国へ行かせてもらったのも、経験値になりましたし、フィールドへも行けました。

その間に、またJPOにも応募しはじめ、ようやく3度目の正直で合格しました。

## ⑤ どのような方法で国際機関に入りましたか？

JPOに3回応募して、合格しました。

## ⑥ 今後のキャリアについてどのようにお考えですか？

今の仕事はとっても楽しいので、今、4年目なのですが、ここの仕事を継続したいです。

そのうち しばらくしたら、ウィーン本部に行ったり、UNIDOのフィールドに行ったりもして、現地の経験も沢山積みたいです。

今のところは、手助けしている日本企業さんが途上国でビジネスを成功するところまでを日本で見届けたいと思っています。

## ⑦ 国際機関を目指している方にメッセージをお願いします！

自分みたいな例が良いロールモデルかはわかりませんが、「民間企業に一回就職した私が国連職員になれたので、出来るよ！」と伝えたいです。

チャレンジしたら、どんな経験も生かせるし、日本企業で働いた経験がある方は国連で活躍できると思います。

日本の組織で身につける能力、知識、経験というのは素晴らしいので十分に生かせます。

だから、民間企業の職務経験を持っている人こそ、国連を目指して欲しいです！

今、自分が好きなこと、「やりたいな」と思っていたことをやっているのだから、「本当に恵まれていて、ありがたいな」と感じています。

やりたいことをチャレンジしなかったら、そこで終わってしまいます。やらなければ、叶うことはないです。

だから ぜひチャレンジしてほしい！





⑧ 今回の取材を振り返って。感じたこと。

村上さんは、とても社会的でポジティブなエネルギーを持っている方だと思いました。

大学の在学中や就職後も、本当にやりたいことを継続的に模索しつつけながら、実際に行動し、答えを出し、英語を使った仕事をしたいという芯の部分は、ブレない。

そして、今好きな事ややりたい事をやっている村上さんがとても輝いて見えました。

JPOに2回落ちたにも関わらず、挑戦しつつけ、夢を叶えたことは、本当に尊敬できることだと思います。

これから国際機関で働きたい方々にも、ぜひ村上さんのようなチャレンジ精神を持ってほしいと思います。

村上さんと話をしている、私も過去の似た経験を思い出しました。

大学で勉強している期間や、その後ホテルに就職したとき、プロのチアリーダーをやっている時、苦しい時期を乗り越えながらも、常に色々な事を模索していた時期がありました。

それでも、常にアクティブに動き、様々な事にチャレンジして行く事で、本当にやりたい仕事にたどり着けたように感じます。

私からも、皆さんにチャレンジ精神の大切さを伝えたいと強く感じた取材でした。



小池絵未 (Emi Koike)

1983年11月7日生まれ。東京都渋谷区出身。

高校から競技チアを開始し、3年連続で日本選手権大会第3位。米国ウェスタン・ケンタッキー大学に進学。大学のチアダンスチームに所属し、2005年全米大学チア・アンド・ダンス選手権で優勝。

その後、NHL ナッシュビル・プレデターズ、アトランタ・ホークス、NHL アトランタ・スラッシャーズのダンスチームのメンバーとして活躍。2011年からはNFLのチアリーダーとしてニューヨーク・ジェッツで活躍。

NFL、NBA、NHLの米国3大スポーツリーグでチアリーダーに選出されるのは、日本人としては史上初。2013年チアリーダーを引退し、日本テレビ NFL 倶楽部の現地リポーターとして活動中。ニューヨーク在住現地スポーツリポーターとして、NFLだけでなく、NBA、MLBの取材にも携わっている。

外務省 国際機関人事センターNewsletter  
「小池絵未の東京発国際機関探訪」VOL.4

出演：村上 秀樹 国連工業開発機関 (UNIDO)  
東京投資・技術移転促進事務所次長

取材地：東京

2016年12月25日発行



外務省 国際機関人事センター

[jinji-center@mofa.go.jp](mailto:jinji-center@mofa.go.jp) / 03-5501-8238

<http://www.mofa-irc.go.jp>



<https://www.facebook.com/MOFA.jinji.center>



日本の国連加盟60周年  
Japan in the UN: 60th Anniversary